



平成29年 4月5日

各 位

会 社 名 株式会社バローホールディングス
代表者の役職名 代表取締役会長兼社長 田代正美
(コード番号: 9956 東証・名証一部)
問い合わせ先 常 務 取 締 役 篠 花 明
総 務 人 事 部 長
電 話 番 号 (0 5 7 2) - 2 0 - 0 8 0 1

本田水産株式会社の株式取得(子会社化)に関するお知らせ

当社は、平成29年3月9日開催の取締役会において、本田水産株式会社(本社:宮城県石巻市、代表取締役:本田太)の全株式を取得し子会社化することを決議し、本日付で株式譲渡契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 株式取得の目的

当社グループは、中期3ヵ年経営計画の最終年度を迎え、スーパーマーケット(SM)事業を中心とする構造改革の推進、成長ドライバーとしてのドラッグストア及びホームセンター事業の業容拡大、組織基盤の強化に継続して取り組んでおります。SM事業につきましては、既存店の強化に向けて、生鮮部門を強化した競争力あるフォーマットへの転換を進めております。また、それらを支えるバックシステムとして、集中加工を行う畜産プロセスセンターや青果センター、グループ傘下に精肉及び青果物卸売業を持ち、中間流通利益を確保しつつ、品質の向上に努めております。水産物においても同様に、連結子会社が水産加工業を手掛けておりますが、海水温の上昇や世界的な需要拡大等による漁場の変化及び漁獲量の減少を受け、安定調達と商品力の向上が課題となっております。

本田水産株式会社は、宮城県石巻市を拠点とする水産加工業で、良質な漁場である石巻漁港、女川漁港等に仕入ルートを持つほか、加工技術に優れ、主に牡蠣・鯖を原料とする付加価値の高い商品を自社工場で加工し、多様な取引先に販売しております。今回の株式取得によって、調達環境の変化に対応すべく、水産物の調達・加工体制を強固なものとし、商品力の向上や店舗の収益改善に繋げる方針です。

なお、同社の子会社化に伴い、当社及び連結子会社より5名が取締役(非常勤)に、1名が監査役に就任し、代表取締役社長には本田太氏が重任する予定です。

2. 異動する子会社の概要

(1) 名 称	本田水産株式会社
(2) 所 在 地	宮城県石巻市流留字五性橋9番地の45
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 本田太
(4) 事 業 内 容	水産加工業
(5) 資 本 金	2,700万円
(6) 設 立 年 月 日	昭和45年9月1日
(7) 大株主及び持株比率	本田太 100%
(8) 当 社 と の 関 係	資本関係、人的関係、取引関係、関連当事者への該当状況ともに該当事項はありません。

(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態		※百万円未満は切り捨て		
決 算 期	平成26年7月期	平成27年7月期	平成28年7月期	
純 資 産	189 百万円	234 百万円	261 百万円	
総 資 産	313 百万円	336 百万円	473 百万円	
1 株 当 たり 純 資 産	70,309.89 円	86,920.82 円	97,005.99 円	
売 上 高	527 百万円	671 百万円	695 百万円	
営 業 利 益	3 百万円	44 百万円	△10 百万円	
経 常 利 益	11 百万円	72 百万円	△4 百万円	
当 期 純 利 益	15 百万円	44 百万円	27 百万円	
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	5,684.60 円	16,610.92 円	10,085.17 円	

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	本田太
(2) 住 所	宮城県石巻市
(3) 上場会社と当該個人との間の関係	資本関係、人的関係、取引関係はございません。また、関連当事者にも該当いたしません。

4. 取得株式数について

同社の代表取締役本田太氏が保有する同社の発行済株式(2,700 株)を取得し、100%子会社とする予定です。

5. 取得価額について

相手先の意向により、非公表とさせていただきます。

6. 日程

(1) 取締役会決議日	平成29年3月9日
(2) 契約締結日	平成29年4月5日
(3) 株式譲渡実行日	平成29年4月5日

7. 今期業績に与える影響

本件に伴う連結業績に与える影響は軽微であります。

以 上